

# 市P連 おおた

題字: 太田市P連会長 若狭大介

## 第23号

★発行 所: 太田市小中特別支援学校 PTA連合会  
 ★発行 責任者: 若狭大介  
 ★編集 担当: 太田市P連西ブロック  
 宝泉中PTA会長・内田博之 / 宝泉小PTA会長・堂前祐樹 / 宝泉南小PTA会長・書上 真 / 宝泉南小母親委員・園尾雅美 / 木崎中PTA会長・吉田和臣 / 木崎小PTA会長・菊地静枝 / 生品中PTA会長・石井 裕 / 生品小PTA会長・松本徹也 / 綿打中PTA会長・船橋まゆみ / 綿打小PTA会長・山崎明子  
 ★印刷 所: 吉田印刷株式会社

## 「PTAを楽しもう！」

太田市小中特別支援学校PTA連合会 会長 若狭大介



も本心では「イヤイヤ」「仕方なく」な気持ちの中で参加している事はありませんか？  
 正直、私も人のことを考えた義理ではないように思います。私達は親として、よく子供達に仕上げの環として用をたてたり、勉強や宿題に対して「イヤイヤやるな」とか「自分で率先してやりなさい」というような言葉を子供たちに投げかける事があります。か？しかしそれは、大人を取り巻く社会に置いていても全く同じ事であり、PTAも正にそれに当たっていると思います。最近では政府官僚者が「PTAは任意」と発言した事をきくか、PTA問題が裁判にまで発展する事態にまで陥った地域があるとも聞きます。今、社会問題にもなりつつあるPTA活動ですが、それもこれも、皆さんがPTAという向き合うか、ほんの少し前向きな気持ちとご理解でPTAに接して頂けたらこの問題は解決するのではと思えます。親である私たちがイヤイヤ感を丸出しにしていたら、悪い想像ばかり走り、そしてそれは子供たちに素直に伝わってしまうのではないですか。また、「苦労は各御家庭に様々あると思います。ただ、どうせやるならやらなければならぬ年ならば、やらされているような後ろ向きな気持ちで参加するより、自らPTAに「楽しさ」を見出して頂けるような前向きな気持ちで参加して頂ければ、また新しい発見や新しいものが見方が生まれ、PTA活動自体が有意義なものになるのではないのでしょうか。

毎月第1日曜日は  
**おおた 家庭の日**  
 家族みんなで語り合い、楽しみあ  
 い、協力しあって家族のきずなを深  
 め、あたたかい家庭を育みましょう

戦後、そして私達の親の代から脈々と受け継がれているPTA。歴史の長さから見ても、私はそれほど悪い組織ではない様に思っています。年が終った時に「PTAやってよかった」と思える活動を少しだけ前向きな気持ちで皆さんで取り組んでみませんか。楽しく笑顔で取り組む姿は、きっと子供達にも届くと思います。それが翌年へ、そして次世代へと繋がる小さいけれど大きな前進ではないでしょうか。  
 一年間、どうぞ宜しくお願い致します。

### 公益社団法人日本PTA全国協議会主催 三行詩の市P連推薦作品二点

【小学生の部】 おやすみ前 うれしい話を してねよう  
 【中学生の部】 ちゃんと見て スマホじゃなくて 私の成長、私の心  
 【一般の部】 「姉ちゃん、兄ちゃんのバカ」「妹なんかいらぬ」「喧嘩ばかりのあなた達。  
 夜は顔を寄せ合って眠っているの知らないでしょ。母だけの秘密だもの。」

旭小三年 和田 佳子さん  
 尾島中三年 小久保結真さん  
 南小保護者 小林絵莉子さん

### 第49回 日本PTA 関東ブロック研究大会 群馬大会

第49回日本PTA関東ブロック研究大会群馬大会が十月二十一日から二十二日の二日間の日程で、「伝統 自尊感情 自立した大人への架け橋」の国から 未来を自分らしく、生き抜く子どもたちを育てるために」をスローガンに掲げ高崎市で開催されました。太田市P連・邑楽郡P連は二十一日行われた第七分科会を運営担当し、「子どもたちをよりよく育てるため、学校・家庭・地域の連携の

### 太田市小中特別支援学校PTA連合会

【日時】 平成二十九年十一月十九日(日) 午後一時～三時四十五分  
 【会場】 太田市新田文化会館 / エアリスホール  
 【第一部】 午後一時四十五分～二時三十分  
 【基調講演】 「栄光と挫折、そして現在」 戦力外通告を受けたドラフトの星」  
 【講師】 辻内崇伸 (埼玉アストライアヘッドコーチ)  
 【第二部】 午後二時四十分～三時三十分  
 パネルディスカッション  
 「コーチングについて考える」 ※辻内講師と地元小中学校のスポーツチームの監督、コーチ、選手、保護者が参加

### 会員研修会

【日時】 平成二十九年十一月十九日(日) 午後一時～三時四十五分  
 【会場】 太田市新田文化会館 / エアリスホール  
 【第一部】 午後一時四十五分～二時三十分  
 【基調講演】 「栄光と挫折、そして現在」 戦力外通告を受けたドラフトの星」  
 【講師】 辻内崇伸 (埼玉アストライアヘッドコーチ)  
 【第二部】 午後二時四十分～三時三十分  
 パネルディスカッション  
 「コーチングについて考える」 ※辻内講師と地元小中学校のスポーツチームの監督、コーチ、選手、保護者が参加

### 「母親委員会」今年の活動のテーマ 「心に寄り添う」～優しい気持ちづくり～

平成二十九年年度の母親委員会は例年同様、会員の地位資質及び家庭教育の向上を図ることを目的とし、セミナーやイベントを全五回開催いたします。  
 第一回は六月二十四日に元北中学校長、現スクールカウンセラーの三田康弘先生をお迎えして「子育ては、親育て、親磨き」をテーマにお話を伺いました。子供を褒める・しかる時のポイントや「親の言うようにはならないが、親のするようになる」といった事を日常生活の場面に置き換えて、わかりやすく二十四項目に分けて説明いただきました。時間に追われる毎日の生活の中で、工夫次第で子育てのストレス解消、子供との良い関係作りが出来るという内容に一同、聞き入り



第二回は八月十九日に「親子でゲーティング」で親子で楽しく室内に飾れる寄せ植えを作成し、大変好評でした。  
 今後は「親子でヨガ」「コサージュ作り」など、子供達と一緒に楽しめる会なども予定しております。会員の皆様や各関係者の方々のご協力をいただき、今年の活

### 母親委員長 金子幸代 (駒形小学校)

講話後のグループミーティングでは「大変勉強になった」「今日から実践してみたい」「もっと時間を増やして詳しい話が聞きたい」との意見が多数寄せられ、とても貴重で有意義な時間となりました。

動のテーマである「心に寄り添う」～優しい気持ちづくり～の心をはぐくむ会を催すことが出来るよう取り組んでいきたいと思っております。





# 藪中女子ソフトボールチーム 第39回 全日本中学校ソフトボール大会 in 鹿児島 準優勝!!



藪塚本町中学校女子ソフトボールチームが全国2位(準優勝)という素晴らしい成績を納めました。市P連ではその偉業をたたえ、市P連ではその強さの理由を知りたく、市P連若狭会長のインタビューによる小林キャプテン他15名の選手たち・高橋監督・本間コーチとの語らいの場を設けさせていただきました。

後まで自分たちのプレーをして準優勝できたのは素直にうれいんです。会長…何回勝ったんですか。監督…市の予選から数えると市2回、県4回、関東4回、全国3回で合計13回勝ち、14回目で負けたことになりました。会長…選手は小学生からソフトボールをやっていたんですか。監督…全員ではありません。野球をやっていた子もいます。会長…練習・監督は厳しかったんですか。

選手…練習は厳しいですが監督は優しいです。会長…ソフトボールをやつてきて良かったこと、つらかったことはありますか。選手…練習を通じて大変なことも多いけど、全国大会出場できたり、結果を残せたことがうれしい。たくさんの人に支えられたことに感謝できました。会長…ピッチャーの球は速いのですか。監督…プロの上野選手が120キロでうちのピッチャーは90キロぐらいです。特別球が速いわけではないです。会長…チームの特色は何ですか。守備または打撃が良いとか。監督…うちは両方とも当てはまらない、ソフトボールは野球に比べ、スピード感が大切です。あの狭いグラウンドで早めに動かなければならない。皆頭を使えるようになり、それができるように。スパーな選手がいたわけではなく、チームワークで勝ち進んでいった。会長…キャプテンが選ぶMVPは誰ですか。キャプテン…みんながMVPです。会長…先輩が偉大な成績を残しましたが、後輩の方の目標は何ですか。選手…いきなり大きな目標を掲げるのではなく、目の前にある目標に一つずつ挑戦し勝ち続けていきたいです。会長…この辺の女子ソフトボールのレベルは高いのですか。監督…太田は大変高いです。会長…皆ニコニコしているけど、試合中エラーして笑ってたら怒られませんか。監督…うちのチームは私がすごく怒つても、他のチームの監督さんから、「なんで怒られても敵中の選手は皆ニコニコしているか不思議だ」と言われます。そういうチームです。会長…それはどうしてか。いつも笑つていようとしているのか、または皆

あつからんとしているのですか。キャプテン…先輩方から教わった敵中のモットーは「感謝・信頼・笑顔」です。怒られたことはしっかり聞いて、チームの雰囲気を保つため、また笑顔で頑張ることを心掛けています。会長…皆さんのお話を聞いて、藪中ソフト部の強さの秘密の端を知った気がします。最後に今後の目標は何ですか。選手…高校でもソフトボールを続けてインターハイで優勝したいです。会長…今日は皆さんとお話しできて大変有意義でした。最後に私の経験から一言、補欠選手がいるからこそレギュラー選手が活躍できる。そのことを忘れないでください。そして皆さんの中に芽生えている人を見て、他のチームの監督さんから、「なんで怒られても敵中の選手は皆ニコニコしているか不思議だ」と言われます。そういうチームです。会長…それはどうしてか。いつも笑つていようとしているのか、または皆

「ハアエ、お集まりなる皆さん方に木崎音頭を読み上げます。八月二十六日、木崎音頭が夏の夜に響き渡り、老若男女が歌

## 木崎小学校の校庭に「木崎音頭」が帰ってきた

木崎中学校PTA会長 吉田和臣  
木崎小学校PTA会長 菊地静枝

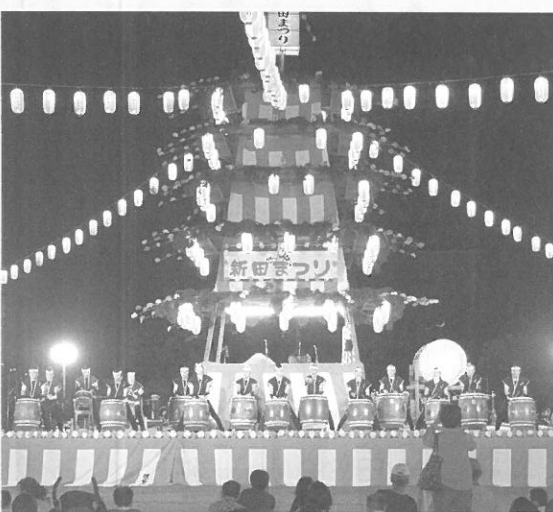


「ハアエ、お集まりなる皆さん方に木崎音頭を読み上げます。八月二十六日、木崎音頭が夏の夜に響き渡り、老若男女が歌

日に、地元の団体や商店、企業、小中学生の方々に積極的に参加してもらい、地域の方々との交流を深めることが出来たお祭りとなりました。

に、踊りに酔いしれた一夜でした。 「大人も子供も、笑顔で楽しもう」を合言葉に企画運営された、「第11回木崎音頭祭り」が30年ぶりに木崎小学校の校庭に復活致しました。当

祭りの準備には、木崎中学校のボランティアの生徒達が大量集まり、早朝より会場準備やテントを設営し、祭りの際には、販売ボランティアをはじめ、唄や踊りで盛り上げてくれました。また、木崎小学校の生徒達は、七月から毎週お囃子や踊り唄の練習をこの日の為に頑張っていました。そして、今回は6年生にうちのデザインを募集したところ、多くの良い作品が出品されました。その中の優秀作品をうちの表紙にして当日配布いたしました。 さらに、木崎小学校、木崎中学校の校長先生や教職員の皆様にも唄などで参加いただきPTAからもお囃子や踊りなどで参加するなどして木崎ならではの良さがたくさん出せたお祭りであったと感じました。



## 第31回 新田まつり

生品中学校PTA会長 石井 裕

今年も八月十二日(土)に「新田まつり」が盛大に開催されました。今年もカンカン照りというよりは若干、曇り加減で無茶暑くもなく、雨もなく絶好のお祭り日和となりました。例年4万人を超

える観客でにぎわうのですが今年はいより入客が多かったように感じます。 家族連れ、恋人どうし、多くの方が浴衣姿で屋台に並ぶ姿は日本の夏の風情を存分に感じさせてくれました。 もともと「新田まつり」は旧新田町、町制施行30年を記念し昭和62年(1987年)から行われ今年で31年目になります。 神輿練り、フラダンス、盆踊り、山車、新田太鼓と盛りだくさんの催しと、締めには恒例の花火大会。 伝統芸あり、新たなプログラムありと、

実行委員会の皆さまの工夫とご苦労がギョッと詰まっております。今年も8,000発とつづいなら1時間半を演出できる花火を40分上げる新田の花火は息をもつかせぬ感動を夏の夜空に描いておりました。 新田まつり実行委員会の方々の努力に感謝するとともに、これからも新田の夜を派手に飾り続けてください。



小学校の広い校庭には、沢山の出店も並び、子供たちが喜んでいる姿も印象的でした。 「木崎音頭」は、戦前は木崎節と言われ、夏の盆踊りに唄われていました。そんな伝統のある「木崎音頭祭り」これからも地元木崎の人々の夢を乗せ、地元の方々に愛され、地元の方々の手作りによって末永く開催されることを心から願っております。

